

設立全体会議に54人が参加

11月23日



「反・貧困ネットワークとやま」は十一月二十三日、設立全体会議を開き、運動がスタートしました。会議は、予想を超える五十四人が参加。会場いっぱいになりました。なお、三十九人が入会しました。

今でもギリギリ…、保護費減らさないで

不服審査請求 生保受給者2人が訴え

関会あいさつで西山貞義・代表世話人は、自らの生活困窮者への支援活動の経験をリアルに語り「運動を進展さ

せ、この富山で、憲法二十五条が保障する生存権を守るための体制をつくらう」と呼びかけました。

開会のあいさつをする西山貞義・代表世話人(弁護士)
*11/23、県中小企業研修センターで。

←北日本新聞が報道

生活困窮者に支援の輪を

反貧困ネットワークとやま設立生活困窮者の支援に取り組む団体「反貧困ネットワークとやま」の設立全体会議が23日、富山市赤江町の県中小企業研修センターで開かれた。弁護士や司法書士、社会保険労務士ら13人で構成し、それぞれの分野の専門家が連携

フロアーから四人が発言。九月に生活保護費の削減に抗議し「不服審査請求」(現をした二人が怒りを込めて訴えました。「生活はギリギリでスーパーは安売りが始まる夜しか行かない。三年連続して引き下げるなんて…」(病弱の夫婦二人暮らし・Mさん)。「障害者で小六の子どもと二人暮らし。時給七〇円で半日働いているが足りなく受給。子どもにはちゃんとした教育をと思っているのに…」(Iさん)。

金沢大学 井上英夫氏が記念講演

井上英夫氏は記念講演で、憲法原則を示し権利としての社会保障を求める運動の重要性を強調しました。最後に、松浦万里子・代表世話人が「富山の反貧困運動がスタートした」と宣言し閉会しました。



西山弁護士が「憲法で定められた『健康で文化的な最低限度の生活』を保障していく体制をつくりたい」とあいさつ。生存権裁判を支援する全国連絡会長の井上英夫さんの講演もあった。

今後、電話相談や会員拡大などに取り組む。同ネットワークへの問い合わせは富山中央法律事務所、電話076(4)233-2466。

11/24付
北日本新聞

反-貧困ネットワークとやま メールニュース

No.2 2013.11.25 ネット事務局 E-mail ; info@fureai.tv

電話相談
生活ホットライン

12/8(日)
9(月)

詳細は後日